

# 国家の輪郭と越境

*The Contours of State and Border-Crossings*

— 「Mother Indiaへのこたえ その2」 —

第7回研究会のお知らせ



参加自由

第7回「国家の輪郭と越境」研究会を開催いたします。

参加自由ですので、ぜひご参加ください。

日時 平成22年2月6日(土) 13時~15時

場所 大阪大学箕面キャンパス (箕面市粟生間谷東8-1-1)

<http://www.osaka-u.ac.jp/jp/accessmap.html>

総合研究棟6階「国家の輪郭と越境」プロジェクトルーム

研究会題目 「Mother Indiaへのこたえ その2」

趣旨

本研究会では、「地域大国」としてのインド、中国、ロシアがこれまでいかに描かれてきたのかを、多様な資料を精読して、広く検証することを目的とする。

これまで取り上げてきた『Mother India』は、アメリカ人ジャーナリスト Katherin Mayo が英領インドを視察して執筆した書である。「インドについて書かれた最も悪名高い書のひとつ」とも評され、1927年の出版直後からインド国内外において非常に大きな論争を引き起こした。

第6回研究会では同書の内容をふまえた議論を深めると同時に、『Mother India』をめぐる論争について考察し、賛同、批判双方の主張の特徴を確認した。第7回研究会では、それらの主張の中から、特にインド人女性 Chandravati Lakanpal による反論本『Mother India Ka Javab (Mother India へのこたえ)』を取り上げ、その内容を検証する。彼女の主張を考察することで、そこに現れるインドイメージについて検討したい。